

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

圧縮空気泡消火装置(CAFS キャフス)

泡で火を消す消防車両

松前消防署の消防車両には、圧縮空気泡消火装置(CAFS)という泡を使って消火ができる車両があります。

CAFS機能を使うと、少ない水でより効率的な消火活動が可能となります。



1 CAFSとは

水と専用の消火薬剤を高圧の空気で混ぜて泡を作る装置で、次のような利点があります。

- 少ない水で消火することができる(600リットルで、1万リットルの放水と同等の消火能力)。
- 火災現場の水損(消火の放水損害)を最小限に抑えることができる。
- 泡が燃焼物に付着・浸透するため、広範囲の冷却と再燃を防止する効果に優れている。

- 消防ホースを通るのは軽い泡なので、消火活動中の消防隊員の負担を軽減する。



2 CAFSの活用

住宅火災のほかにも、森林火災、プラスチック、ゴム、タイヤ(石油製品)など水だけでは消えにくい火災に有効です。また、水が確保しにくい地震などの災害時にも効果を発揮します。

3 環境への配慮

専用の消火薬剤は、シャンプーやせっけんと同じく天然成分由来の原料である界面活性剤を使用しています。

使用後は、自然に消えるので環境にやさしく、有害物質を含んでいないので安心です。

Information

停電後の通電火災にご注意を

災害の影響で、広範囲に渡り長時間停電が起こる可能性があります。

停電後は、再通電時に電気機器や配線から火災が起こることがあり危険です。次のことに十分注意しましょう。

- 停電中は電気機器の電源を切り、プラグを抜きましょう。
- 停電中に自宅などを離れるときは、ブレーカー

を落としましょう。

- 再通電時には、漏水などで電気機器、配線やコードが破損していないか、燃えやすいものが近くにないかなど十分に安全を確認しましょう。
- 見た目に損傷がなくても、電気機器の内部や壁内配線が損傷していることがあります。煙が出るなど異常を発見したときは、すぐにブレーカーを落として消防署に連絡しましょう。
※ 再通電から長時間経過した後、火災が起こる可能性もあります。

